

第57回試験研究成果発表会（林業）発表概要

【日時】令和2年1月28日（火）13：30～15：35

【会場】山武市成東文化会館 のぎくプラザ 視聴覚室
（山武市殿台290-1）

発表1 成果発表（13:40～14:05）

千葉県におけるシカの推定密度と被害発生量との関係

森林研究所 幸 由利香

近年、千葉県におけるシカの推定生息数は平成30年度で約35,900頭と増加傾向にあり、自然植生及び造林苗木に対するシカの食害が散見されるようになっていますが、その実態は明らかになっていません。そこで、シカの生息密度と自然植生及び造林苗木の食害発生程度との関係を調査し、シカによる食害の実態と食害を発生させないシカの生息密度を明らかにしたので報告します。



シカ食害

発表2 成果発表（14:05～14:30）

シイタケ原木林へのカリウム施用による放射性セシウム濃度の低減効果

森林研究所 宇川 裕一

平成23年の東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響で、県内の一部地域では原木シイタケの出荷制限が続いています。放射性セシウムの低いシイタケを生産するためには、放射性セシウムの低い原木を使用することが必要で、安定供給や輸送コスト面からも県内産の原木の生産が求められています。そこで、県内のシイタケ原木林と皆伐後の更新地にカリウムを施用し、放射性セシウムの低減効果と効果的な施用量を調査したので報告します。



シイタケ原木林

発表3 情報提供 (14:30~14:55)

マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツの選抜状況と千葉県産抵抗性クロマツ「富浦7号」
の特性

森林研究所 遠藤 良太

海岸林に植栽されている抵抗性クロマツ苗木の親木である品種のほとんどは、西日本で選抜されたものです。そこで、千葉県の環境に適することに配慮して進めている県内からの抵抗性クロマツ品種の選抜状況を発表します。また、平成22年度に県内で初めて選抜された品種「富浦7号」について、松くい虫抵抗性、結実性(種子生産量)、雄花着花性など苗木生産に必要な特性を調査したので情報提供します。



抵抗性クロマツ

休憩 (14:55~15:10)

総合討議(質疑) (15:10~15:30)